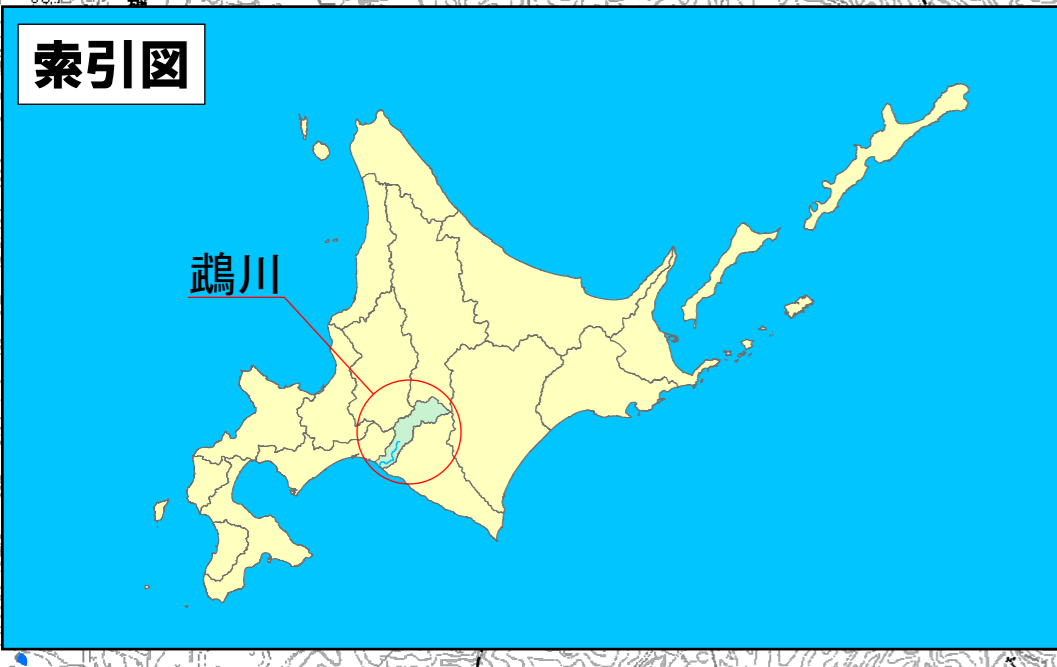
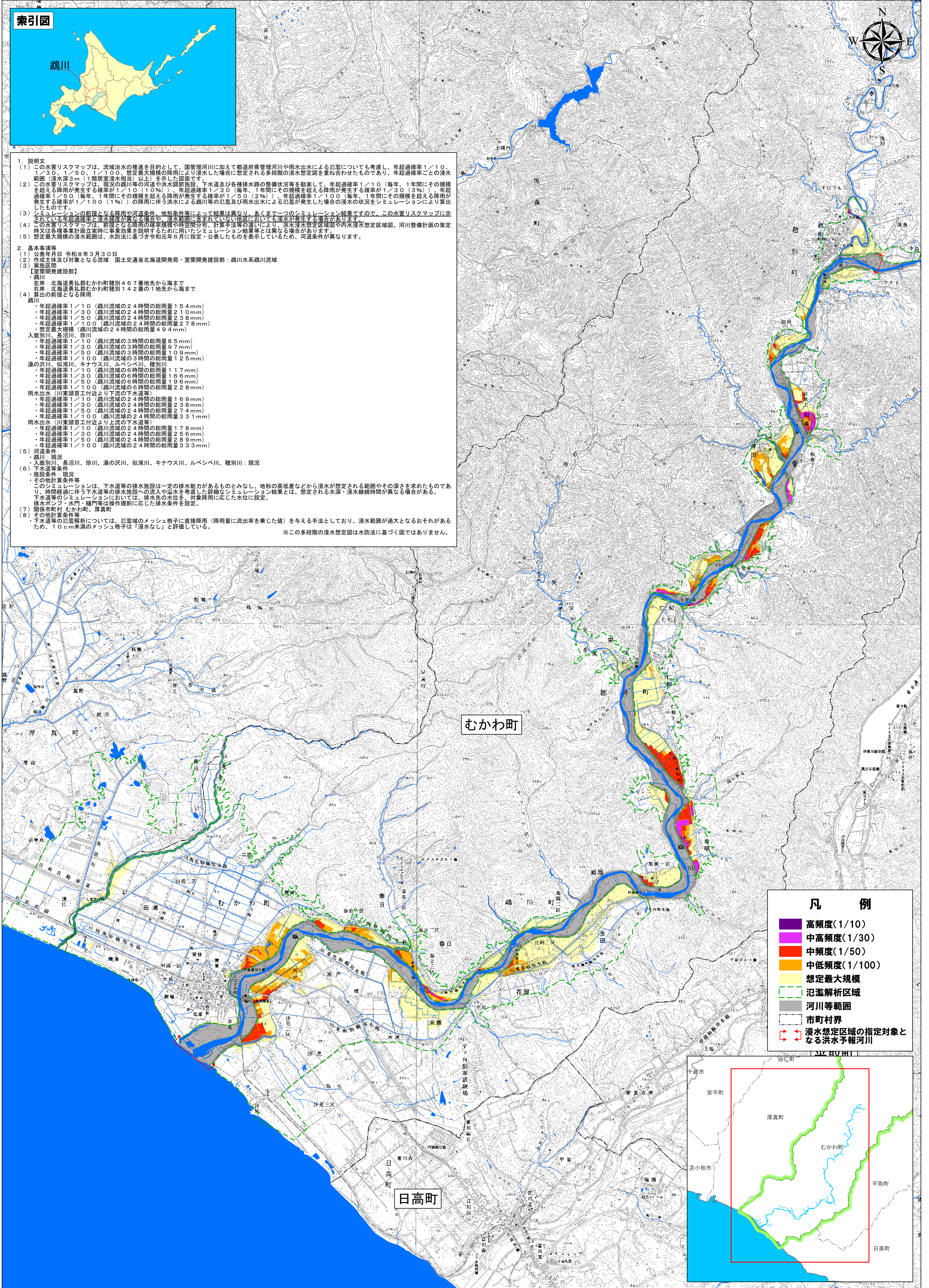


# 鷓川水系 内外水統合の水害リスクマップ【現況河道】

浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文  
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川と雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を表示した図面です。  
(2) この水害リスクマップの作成は、河川治水計画、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。  
(3) シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。  
(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。  
(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき令和元年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等  
(1) 公表年月日 令和8年3月30日  
(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省北海道開発局・室蘭開発建設部：鷓川水系鷓川流域  
(3) 実施期間  
(4) 実施機関  
(5) 実施内容  
(6) 実施場所  
(7) 実施期間  
(8) 実施内容



### 凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模
- 氾濫解析区域
- 河川等範囲
- 市町村界
- 浸水想定区域の指定対象となる洪水予報河川



0 1 2 3 4 5  
1:45,000  
km

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 7Jhs 1146  
（背景図は数値地図50000（地図画像）を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。）」